

ハウスフロント

多治見のまちの家先デザイン手法

# HOUSE FRONT

ハウスフロント 多治見のまちの家先デザイン手法

## 第1章

はじめに

まちは今

昔のまち

まちは変わる

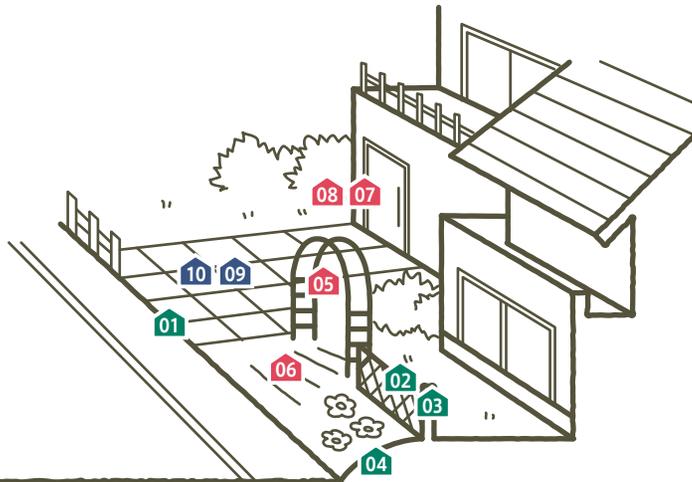
10 8 6

## 第2章

家先デザインの手法

- 01 門道（路境界）無用
- 02 透塀（すけべい）
- 03 塀！LOOK！
- 04 塀のセットバック
- 05 通りゃんせ
- 06 道路お入り下さい
- 07 顔としての玄関
- 08 場としての玄関
- 09 駐車場―車―庭
- 10 駐車場―車―広場

23 22 21 20 19 18 17 16 15 14



### HOUSE FRONT（家先）とは

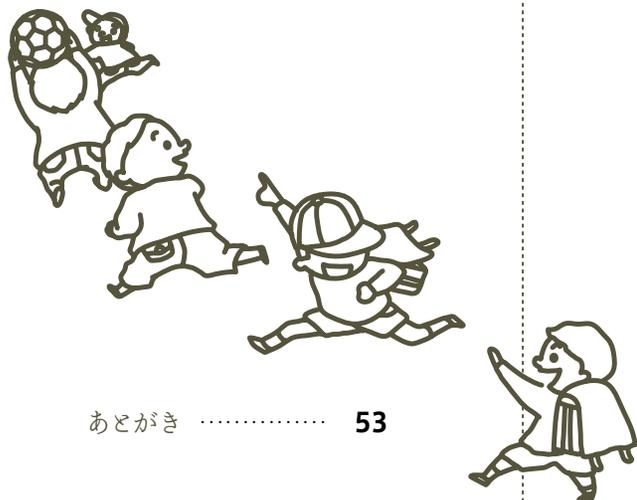
店に店先があるように、家には家先があります。家先とは、道路境界、門、アプローチ、駐車場、玄関、場合によっては庭や縁側をも含んだ場所です。賑やかで活気のある商店街は、それぞれの店が店先に工夫を凝らし、通りの人を誘います。私たちの住むまちが楽しく安心できるまちであるためには、この家先のデザインや暮らし方が大切なものとなります。この本では、多治見で集めた家先デザインの手法を紹介します。

# 第3章

## 家先デザイン手法の実践事例

事例1	郊外型①	46
事例2	郊外型②	47
事例3	まちなか型①	48
事例4	まちなか型②	49
事例5	最近のデザイン	50
事例6	地区計画	51

11	オープンガーデン	24
12	オープンなガーデン	25
13	見える室内	26
14	見せる室内	27
15	軒を貸して	28
16	縁側で	29
17	窓際族になろう	30
18	バルコニーからご挨拶	31
19	道端で暮らす	32
20	近所のおばさん	33
21	地域の祭り	34
22	公園に集まれ!	35
23	まちの〇〇館	36
24	まちのランドマーク	37
25	まちへの木配り	38
26	この木何の木、気になる木	39
27	ミツバチにもやさしい家	40
28	よりどり緑	41
29	ベンチにどうぞ	42
30	家先グッズ	43



第1章

はじめに



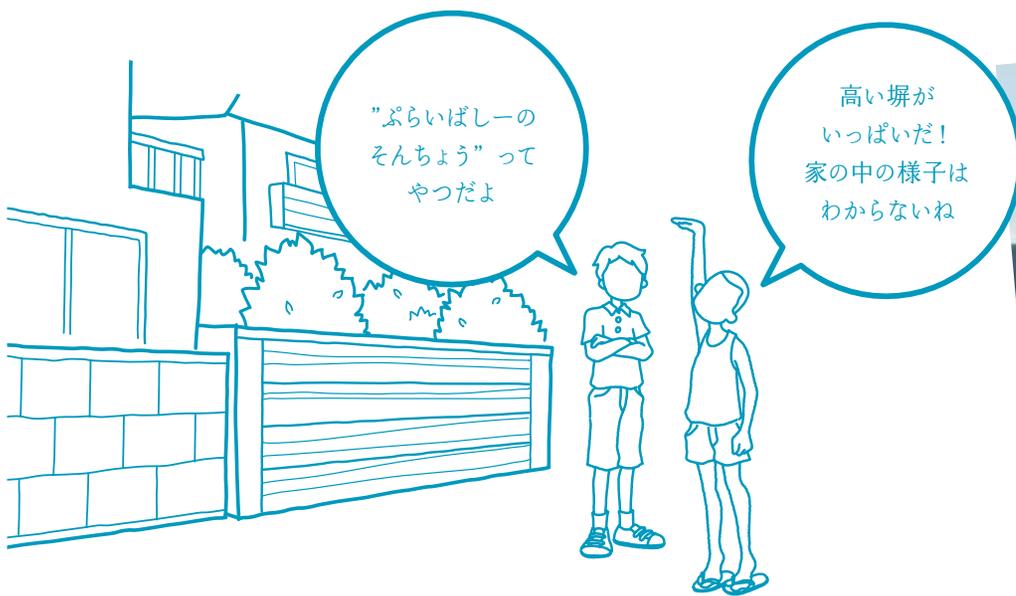
まちは今  
昔のまち  
まちは変わる

まちは

今

ここが僕の  
住んでいる  
まちだよ





市に登録されたこども110番のいえ



家先にぶら下げられた看板

まちでは今、プライバシーの保護や防犯のために、人々の暮らしは塀や壁によって幾重にも守られています。それはそれで大切なことですが、人々の暮らしはまちから切り離され、家の中に引きこもり気味で、家族だけのものとなってしまうかもしれません。

それまでの家にあつたまちとの日常的な交流は、家の中に取り込まれることもなく、家のまわりに付加されることもなく、私たちの暮らしの中から消滅してしまいました。

そして家から切り離されたまちは人の姿もまばらで、温もりや魅力の少ない、淋しいところとなってしまいました。

終の住み処としてのまちを考えると、人と人とのつながりや、人へのやさしい眼差しや見守り、そして助け合いが必要となります。

子ども達の元気な声が聞こえる安心して遊べるまちや、お年寄りが毎日散歩したくなるような親しみの持てる温かなまちにすることが、今のまちには求められています。

# 昔

の  
ま  
ち

あたしも  
まぜて〜!

まちに人が多いね  
みんな外で遊ぶの?

まちが俺たちの  
遊び場だからな

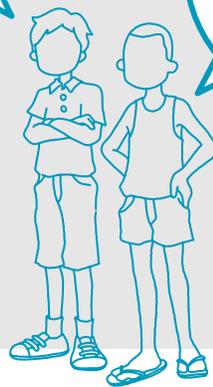
また  
俺の勝ち!

お!  
やってる



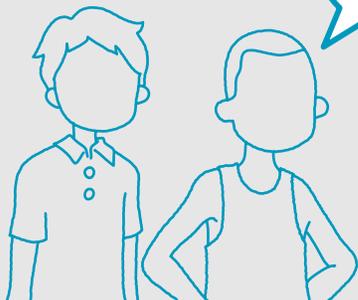
家の中からでも  
外の様子が  
よくわかるね

昔はまちと家との  
つながりが  
強かったのさ



自然に安全な  
まちがつくられて  
いたんだね  
なにより楽し  
そうなまちだ…

縁側には  
おばあちゃんと猫が  
よくすわってたなあ



すごい！  
すごい！



昔、まちは子ども達の遊び場でした。神社の境内、空き地、原っぱ、雑木林や竹林など、子どもが入っても良い場所がたくさんありました。住まいにしても、他所の庭に入り込んだり、家と家の間を通り抜けて移動したものです。子ども達の一番身近な遊び場は道で、表通りから一本入った道などは、車の通行も少なく安全な遊び場でした。道はいろいろなものが通ります。近所の人、友達、豆腐屋さん、紙芝居屋さん…。そしていろいろなことが起こります。道では、道の長さを使った遊び、電柱を使った遊び、舗装を使った遊びなど、いろいろありました。そしてそういった子ども達の遊ぶ姿を眺めるのがお年寄りの楽しみのひとつでもありました。

玄関先や縁側に座っての日向ほっこ。いつもの時刻に、いつもの知り合いが、散歩の途中に一休みしたり、時には懐かしい知り合いが通ることもあります。「やっとかめやのう。元気にしとりやあす」「おまはたてそでうやね」「まあ何とかがやっやわ」

まちは

# 変

わる

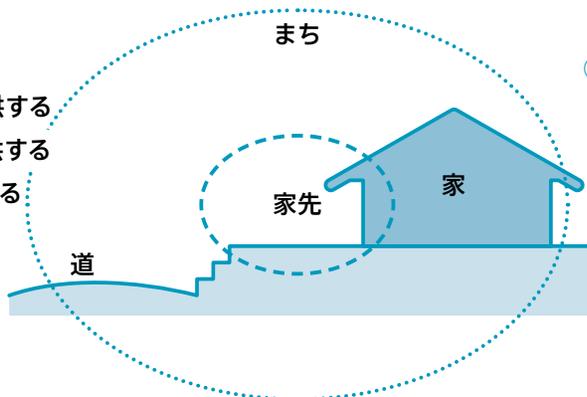
今のまちに  
何が足りない？

きっと  
ちょっとしたことで  
まちは変わるよ

## まちを変えるには？

### ①家先を変える

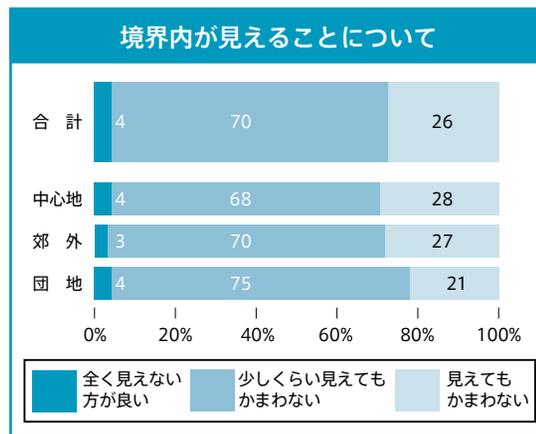
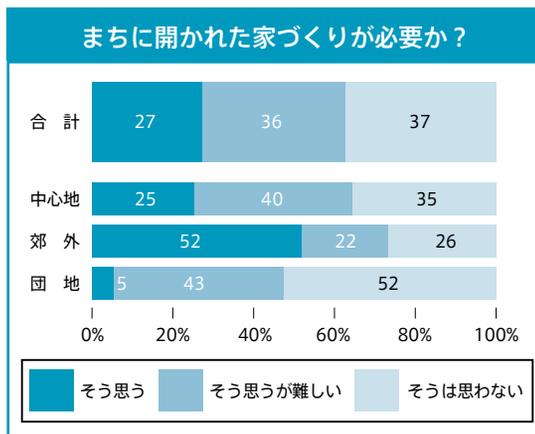
- ・まちに話題を提供する
- ・まちに場所を提供する
- ・まちの風景をつくる
- ・まちを楽しむ



### ②暮らしを変える

- ・家先で暮らす
- ・道で暮らす
- ・まちで暮らす
- ・まちの役割を担う

## 市民の家先に関する意識



市民アンケート/コミュニティ形成のための住まいづくりに関する意識調査2006年(中部大学豊田研究室) 多治見市の中心地(田代町)、郊外(宝町)、団地(希望ヶ丘)で実施

住み処としてのまちを考えると、まちは変わらなければなりません。子どもやお年寄りが安心して暮らすことのできるまちに変わらなければなりません。

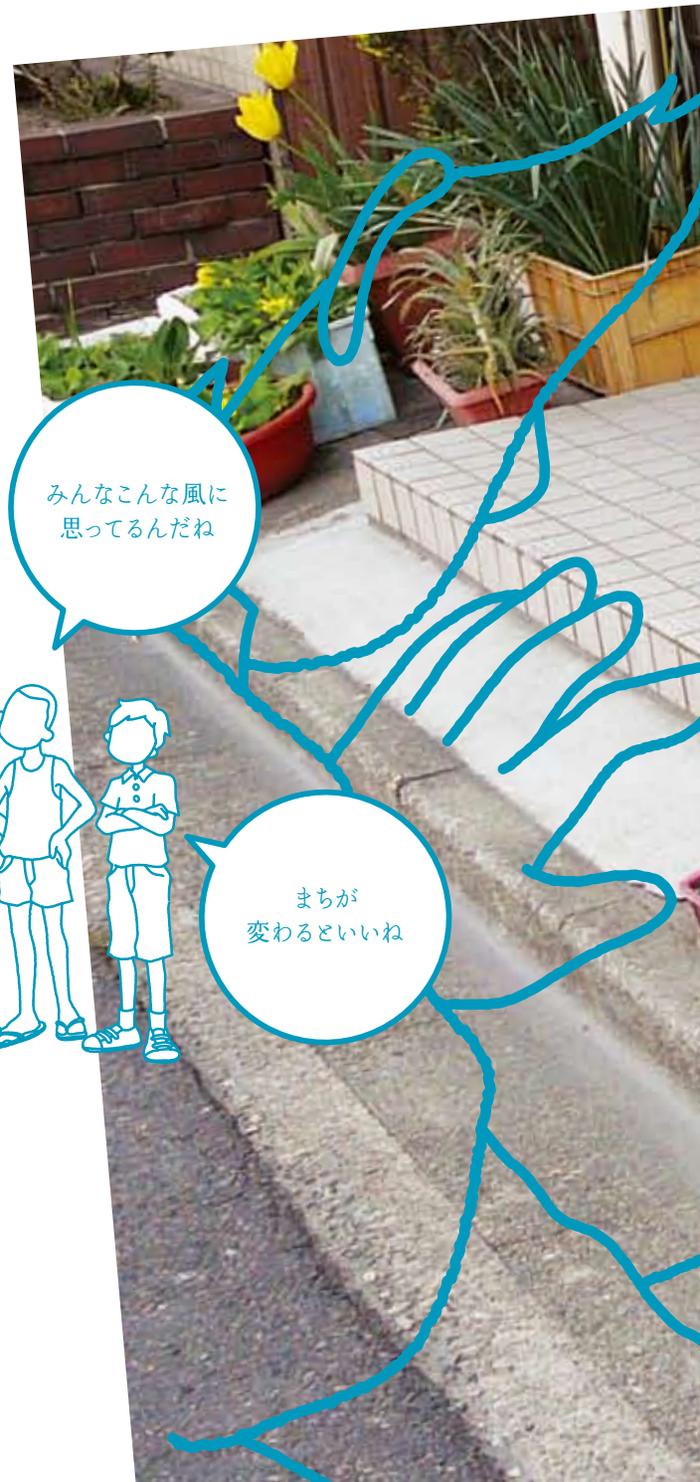
まちは道路や公園といった公共の場も大切ですが、まちなどは私たちの住まいからできています。

そのまちとつながる家先を少し変えることによって、まちの様子は大きく変わります。ま先に話題を提供したり、場所を提供したり。「今年もきれいに咲きましたね」と、ご近所の交流が生まれます。

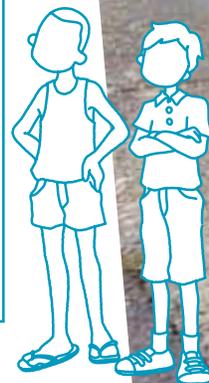
私たちの暮らしは家の中に引きこもり気味ですが、少し外に出て暮らすことによって、私たちの暮らしもまちの様子も大きく変わります。まちを散歩したり、まちの役割を担ったり。「こんにちは。今日も良い天気ですね」と、なんでもない会話が、ご近所のつながりを支えます。

まちは私たちのちよっとした行動で変わります。そしてみんながやれば、大きく変わります。

多治見で見つけたまちを変える30の方法を紹介します。



みんなこんな風に思ってるんだね



まちが  
変わるといいね

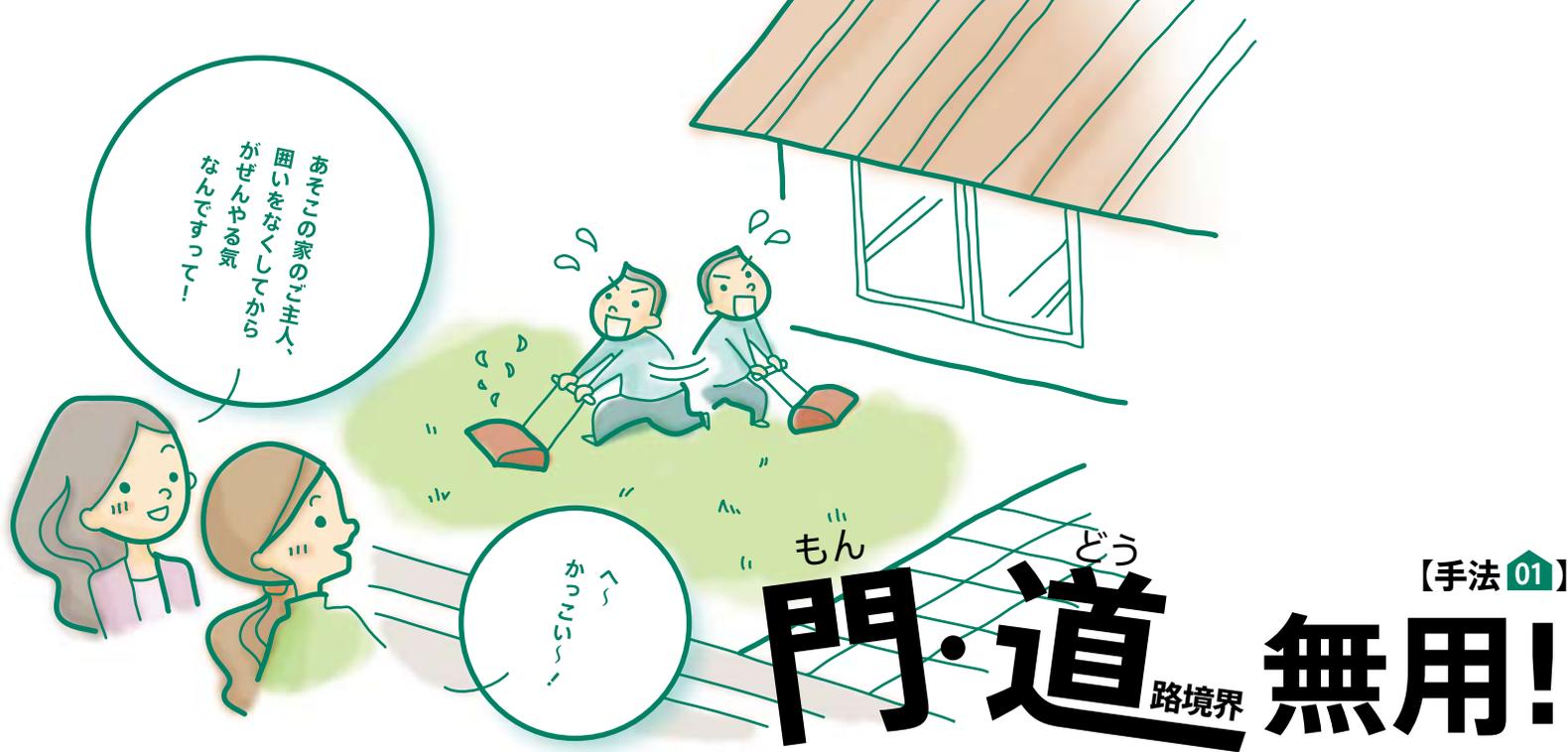
## 第2章

家先(いえさき)  
デザインの

# 手法



門道(路境界)無用  
透塀(すけべい)  
塀!LOOK!  
塀のセットバック  
通りゃんせ  
道路お入り下さい  
顔としての玄関  
場としての玄関  
駐車場I車II庭  
駐車場I車II広場  
オープンガーデン  
オープンなガーデン  
見える室内  
見せる室内  
軒を貸して  
縁側で  
窓際族になろう  
バルコニーからご挨拶  
道端で暮らす  
近所のおばさん  
地域の祭り  
公園に集まれ!  
まちの〇〇館  
まちのランドマーク  
まちへの木配り  
この木何の木、気になる木  
ミツバチにもやさしい家  
よりどり緑  
ベンチにどうぞ  
家先グッツ



道路との境界に門や塀を巡らし、中の様子がまったく分からない住宅がよくあります。道泥棒が入りにくいかもしれませんが、泥棒に狙われやすい住宅であるとも言われます。門や道路境界を無くして、道につながった暮らしをしてみませんか。



**腰の低い塀**  
目の高さより低い塀はまちに對して威圧感がなく、まちにとって腰が低くやさしい塀となります。それでも外部からの侵入を遮るという境界としての大切な役割はきちんと果たしています。



**境界花壇**  
境界の高さではなくて、幅で侵入を防ぐように考えた事例です。犬走りも兼ねた地被類による花壇となっています。背後の軒下と共にまちにつながった空間をつくっています。

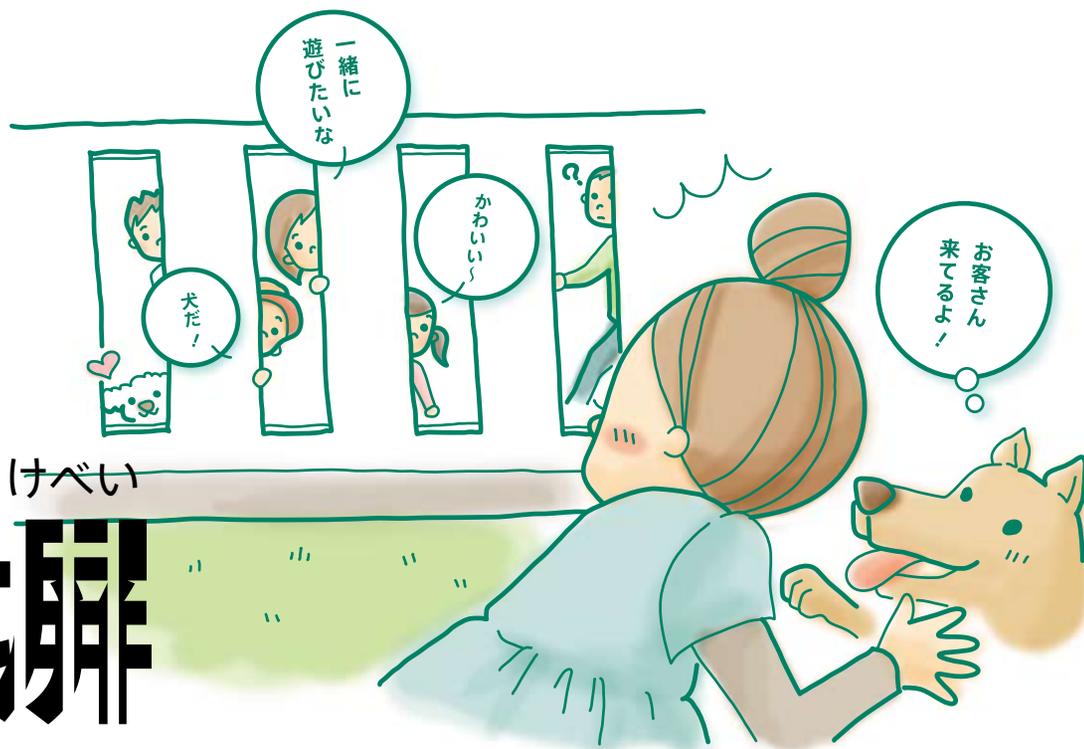


**関守石（せきもりいし）**  
茶庭には「これより中に入るのはご遠慮ください」という意味をもった関守石というものがあります。これも同じような意味をもった石ですが、ベンチにもなりそうです。



一切無用

塀



【手法 02】

# 透塀

塀をなくしたり、低くしたりはちょっとできない場合でも、透過性のある境界とすることもできます。そうすれば、外部からの侵入は防ぎつつも、中と外はつながります。



**つる塀**  
市では夏に朝顔やゴーヤの苗を配っています。暑さ対策のための日除けですが、目隠しとしても有効です。見た目にも涼しく、美しく、病みつきになる味です。



**チラリズム**  
塀に開けられた小さな開口部のある事例です。中の様子はほとんど見えませんが、チラチラとその一部だけが見えます。チラリズムの効果なのか、全部が透けて見えるよりも連続感があり、魅力的です。



**ルーバー塀**  
ルーバーとは視線をコントロールする手法で、こちらからは中の様子が見えますが、左の方からは中が見えにくくなります。こうすれば風通しの良い家になります。

高さはありますが、境界そのものが透けているので中の様子が良く分かります。家人が育てたご自慢の美しい花々を手取るように見ることができ、家人のやさしい心が伝わってきます。



フェンス

塀



【手法 03】

# HEY 塀! LOOK!

**塀**は塀の前にいる人を拒絶するものばかりではありません。「ハイ！見て！」と注目されたがっている塀もありますし、何かを語りかけてくるおしゃべりな塀もあります。どれも住み手の気持ちがこもった素敵な塀たちです。そんな楽しい塀をつくってみませんか。



**アートした塀**  
工場の一角にある塀ですが、瓦の形をしたタイルによってデザインされた塀です。塀は展示のための壁であり、キャンパスでもあります。何か表現してみてもいいですか。



**イルミネーション**  
クリスマスが近づくと家々にイルミネーションが点灯します。夜になるとその風景は一変します。このイルミネーションは、明るい昼間も楽しませてくれます。



**ストリート美術館**  
通りがいきなり本格的な美術館となっていました。陶芸作家の多い多治見ならではの風景です。皆さんも自分の作品を展示塀に飾ってみませんか。



美しい塀

塀



【手法 04】

# 塀のセットバック

塀は境界を目に見える形にしたものですが、必ずしも境界線の上に作るものとは限りません。道路との境界はまちづくり、まちなみをつくる大切な要素となります。まちに対して少し譲って（これをセットバックと言います）、そこをまちのために使ってみませんか。



駐車場をゆったりと、生け垣と門を大きくセットバックした事例です。生け垣も低く床の仕上げも美しく、とても開放的で居心地の良い家先空間の誕生です。



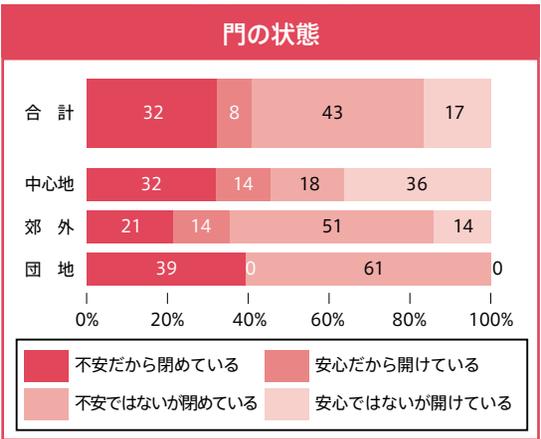
大きくセットバック

**ちょっとしたスペース**  
30cmにも満たないちょっとしたスペースに花の苗が植えられています。大きく育てば、見事な花壇となることでしょう。

**法面（のりめん）**  
道路境界に擁壁をつくり、全てを平坦な庭にするのも良いですが、敷地に余裕があれば法面として残して、まちの緑として植栽できると良いですね。

**2段植栽**  
段差がほとんどありませんので、2列植栽といった方が良いかも知れません。手前から石、低い緑、竹垣と高い緑と表情のある境界を形成しています。

塀



出典：市民アンケート (p11参照)

【手法 05】

# 通りゃんせ

門は作れけど、通せんぼするのではなくて、通りゃんせ。ここは〇〇さんちのお宅です。どうぞ、どうぞ、通りゃんせ。決して帰りも怖くありません。どうぞ、通りゃんせ。



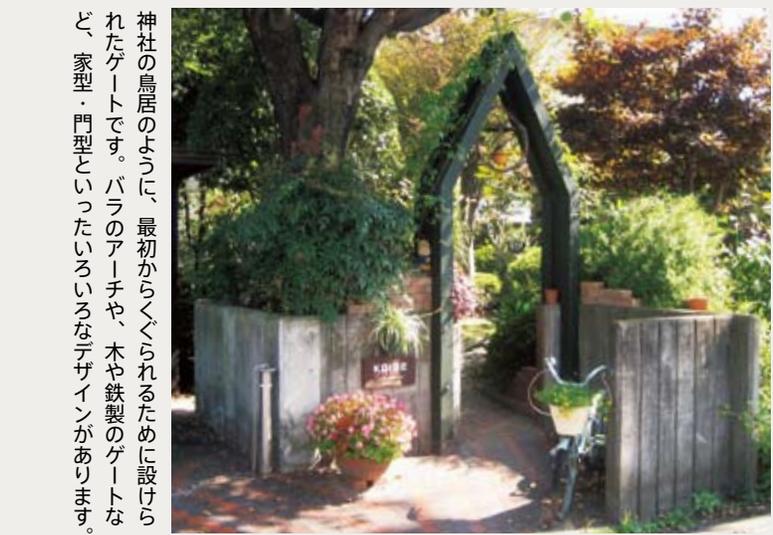
**とっても楽しい門!**  
フクロウ好きの人なのでしょ  
うか。門柱の役目を果たす木  
をかたどったモニュメントの  
中に、たくさんフクロウが  
住んでいます。



**家門!**  
なまこ壁の塀と堂々とした伝  
統的な門です。普通であれば  
入りにくいのですが、開けら  
れた門扉は、扉がない以上に  
通りゃんせを感じます。



**門柱**  
人を拒絶する扉を設けないで、  
ここからが私の家だというこ  
とを知らせる門柱だけを建て、  
通りゃんせ。最近ではもっと  
シンプルに、1本だけの門柱  
も多くなりました。



ゲート

門

## トマソン



階段を上ると?????

これは怪段です。まちの中にはこんな首をひねってしまうような、楽しくなるような物があつたりします。こんな美しく保存されている無用な物を「トマソン」といいます。これもそうだと思ったのですが、実はトマソン（無用階段）ではありませんでした。以前は塀がありませんでしたが、塀の前にはちょっとしたスペースがあつて、ここを通って玄関に行けるのでした。

【手法06】

どろ(ぞ)

# 道路! お入り下さい

門をなくしたり、通りゃんせ門にするだけでは、まだまだ入り口に過ぎません。玄関までは門遠い道のりです。招き入れるようにデザインを工夫して、まちの人を家に招きましょう。



**植えるカム**  
道路から玄関までにたくさん花を植えて、ミツバチが花に誘われ訪れてくれるように花によってまちの人を招き入れます。まちの人はみんな花が大好きです。



**奥への細道**  
芭蕉が旅への想いをかき立てられたように、この奥への細道は魅力的です。開けられた木戸、奥に見えるたぐさんの緑が訪れる人を奥へ、奥へと誘います。

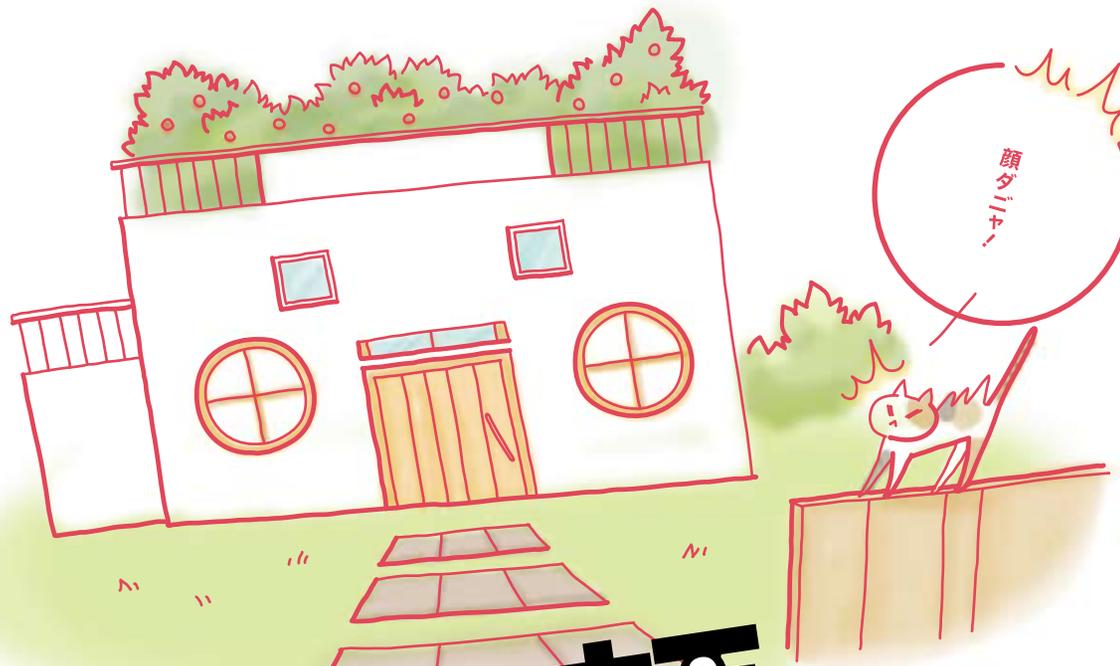


**パースペクティブ**  
入り口を広く、玄関扉に向かって段々狭く、パースペクティブに構成されたアプローチです。吸い込まれそうな、いかにも「どうぞお入りください」といったデザインです。

大きく開放された入り口の向こうには、これまた大きな広場が広がっています。まるで両手を広げて、どうぞお入り下さいと言われているような、ふとこのころの大きな家です。



ふとこのころの大きな家



【手法 07】

# 顔としての玄関

玄関は建物への入口で、「玄妙なる道にいたる関門」という意味でつくられた寺院建築の入口に由来します。建物の最前部にあり、建物全体を象徴する意味合いを持ち、特に住宅では顔の役目も果たします。開放的で、明るく、にこやかな表情で、楽しいまちなみを！



**小顔**  
女性の間では小顔が流行っているようですが、この住宅も小さくへこんだ玄関で、とても控えめです。小声で「ここが入口です」と囁きかけています。

**横顔**  
正面向きではなくて、ちょっと横を向いた玄関です。間近で正面向きといった気まずさ・窮屈さを避け、スペースの限られた家先をうまく利用してゆとりを持たせています。

**和風**  
伝統的な和風の玄関です。建物本体から少し出っ張ったつくりで、別に屋根をかけます。凸であることによって周りから目立ち、入口であることを表現します。

とてもモダンな住宅の玄関です。道路と玄関が接近しているために、ベールをかぶって直接向かい合うことを避けています。



ベール

門



あら本当!?  
絶対行かなきゃ

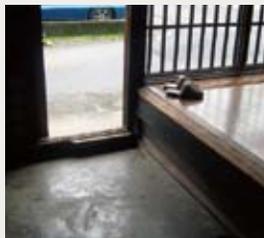
そうそう、  
今度駅前に  
おだんご屋さんが  
できるんですよ

長話だなあ...

【手法 08】

# 場としての玄関

**玄**関は靴を脱いで上がるための通過点になっている場合の方が多いのですが、玄関は家とまちがつながる正規の場所で大切な場所です。近隣関係でのお付き合いでは、玄関までで用が済む場合がほとんどで、接客空間としての玄関のつくり方が重要となってきます。



大きな玄関ポーチ



外国映画でよく正面がバルコニーになっている、ゆり椅子に腰掛けてパイプをくゆらせる老人のシーンがあります。そんな大きな玄関ポーチがあると、いろいろなことに使えます。

## 玄関土間

玄関土間は靴脱ぎスペースではなく、交流スペースです。広くて座れる場所があるといいですね。そうすが長時間の井戸端会議も可能になります。

## 引き戸

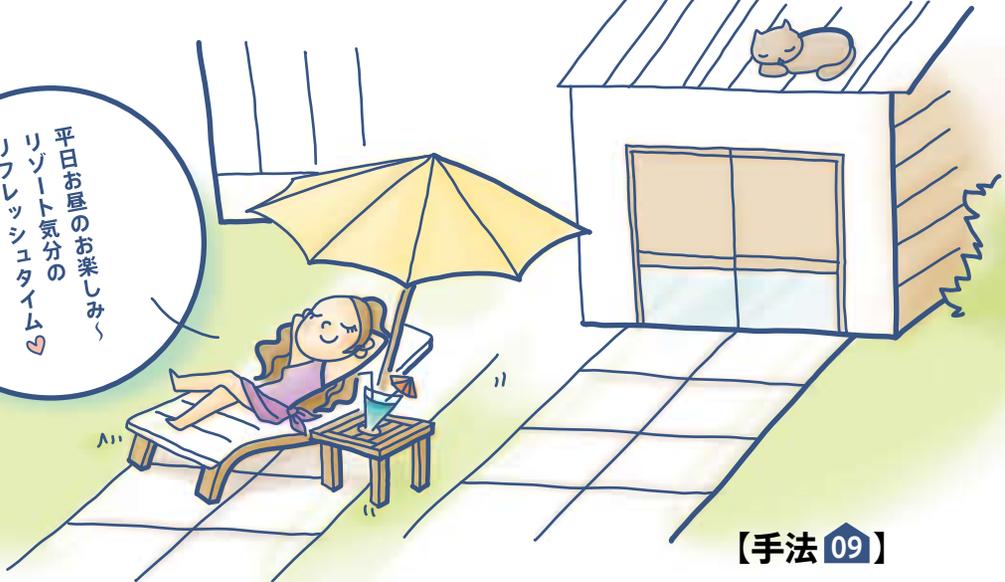
ドアは開けるか閉めるのかどちらかです。引き戸は全開の状態から全閉の状態までいろいろです。少し中を見えにくくしながら、風だけを通す。猫だけを通す。こんなこともできます。

## 暖簾

暖簾もいいですね。これはお店の例ですが、暖簾の一部があげられています。「どうぞお入りください」といって主人の心が伝わってきます。



平日お昼のお楽しみ、  
リゾート気分の  
リフレッシュタイム♡



【手法 09】

# 駐車場-車=庭

**駐**車場をとると十分に庭をとることが出来なくなってしまうことがよくあります。そんな時には庭と駐車場を一体にして、車がない時は庭のように使う事ができます。どちらを優先するかによって、作り方はいろいろ。結果的にはまちにつながった住宅となります。



庭のようにつくられた駐車場

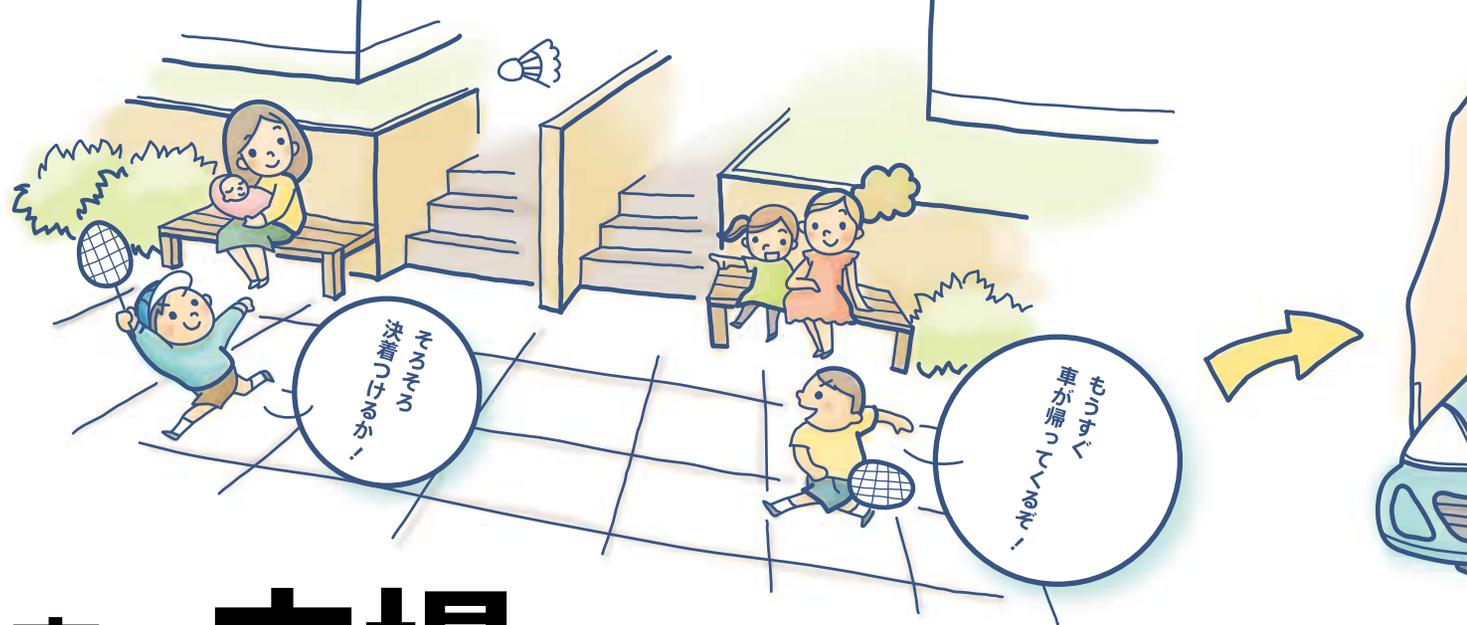
庭

**緑化駐車場**  
車のタイヤの乗る部分だけコンクリートや枕木を使用して、その他の部分を緑化した例です。芝生の緑がとも目に鮮やかで、寝っ転がることもできそうです。

**多目的**  
昔の農家に良く見られた形式です。家先は、作業に使われたり、洗濯物を干したり、子どもの遊び場になったり、駐車したりといろいろな使われ方をします。

**庭が駐車場**  
庭の中に駐車した例です。タイヤの乗る部分だけにプロックを飛び石状に張り、その他は芝生を張り、庭の一部のようにつくられています。

植物を配置するなど床の仕上げを工夫して、車がない時には庭のようにも使える例。庭としての使用にも違和感を感じさせません。



【手法 10】

# 駐車場-車= 広場

**駐**車場は車を入れるために道路に向かって大きく開いていなければなりません。それを開いたままにするか閉じるかは自由ですが、開いたままにすれば車のない時にはまさに広場や道の広がりを提供することができます。



石畳の広場

駐車場は車を置くためには堅い床が必要です。一面のコンクリートも簡単ですが、石やレンガやインターロッキングなどを使えば居心地の良い広場が出来ます。



歩道それとも駐車場？

道路と平行に縦列駐車とした例です。道路が広くなったように見えます。団地でよく見られる方法で、つながっていくとその効果も大きく、おしやかな歩道のようにも見えます。



全天候型

何台もの車を駐車するために大きな屋根を設けた例を良く見かけます。雨の日や日差しの強い日には、絶好の井戸端会議場になります。

まちなかにあって、ちょうどポケットのようにまちに向かって開かれた場所です。床のレンガや緑は都会的なセンスで、居心地の良い場所になっています。



ポケットパーク

## オープンガーデンとは

オープンガーデンとは、個人の庭などを一定期間、一般に公開するという活動です。今から75年ほど前に、ガーデニングの本場であるイギリスで生まれました。限定した日に自宅の庭を入場料を設けて公開し、その収益金を社会福祉事業などに寄付することを目的として始まった慈善事業です。

日本でもオープンガーデンに取り組む団体や自治体も増えてきました。その活動方法は様々で、イギリスのようにチャリティーとして実施するところもあれば、入場料は設定せず、花好きな人たちが気軽に見て楽しみ、情報交換できる場として実施しているところもあります。実施している自治体としては、長野県小布施町、長野県松本市などがあります。

【手法 11】

# オープンガーデン

**丹** 精込めて育てた美しい庭を近所の人たちにも見てもらって、その感動をおすそ分けしませんか。イギリスで始まったそんな運動がオープンガーデンです。日本でもいくつかのまちでオープンガーデンの運動が始まっています。あなたの庭もオープンガーデンに!

## ナチュラルな感じを大事にした庭

三宅千咲さん

北丘町1-60  
TEL: 29-5431  
公開日: 4月~9月  
公開時間: 午前10時~午後3時

春には1000株のパンジーの群生が、5月から秋口まではハーブや宿根草が彩りを見せます。



## ナチュラルな中にも可愛らしさをプラスした庭づくり

大橋頼子さん

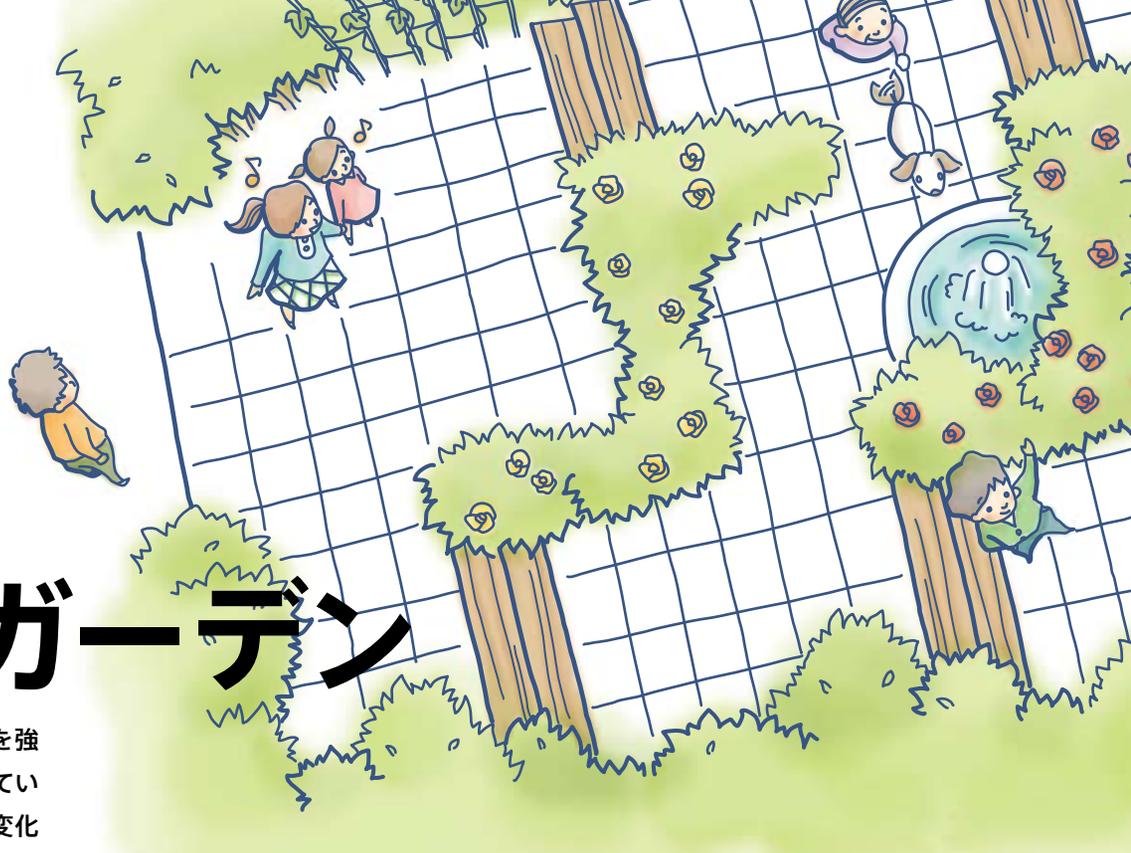
脇之島6-61-5  
TEL: 24-2975  
公開日: 5月~10月  
公開時間: 午前10時~午後3時

奥様が花を、ご主人が大工仕事を担当し、お二人で庭づくりを楽しんでおられます。



岐阜にはGIFUオープンガーデン協会という団体があって、76のオープンガーデンが登録され、ガイドブック「Green Circle」が発行されています。多治見には6つのオープンガーデンが登録され、そのうちの2つを紹介します。それぞれのガーデンには特徴があって、公開日も違います。見学は事前に直接の予約が必要です。

GIFUオープンガーデン協会 代表 岩崎幸子さん  
(脇之島 電話 2555657)



【手法12】

# オープンなガーデン

ガーデナー憧れのイギリス人の庭は、外から見られることを強く意識して、どの家の庭も美しく、手入れもきちんとされていて、道行く人の目を楽しませてくれます。美しい花木の四季の変化は隣人同士のやさしいコミュニケーションのきっかけになります。



庭

**コミュニティガーデン**  
空き地に植えられたたくさん  
の花々です。これは個人  
の方がやってみえるもの  
が、空き地を提供してもら  
って、みんなで花を育てて  
いますね。それをコミュニ  
ティガーデンといいます。

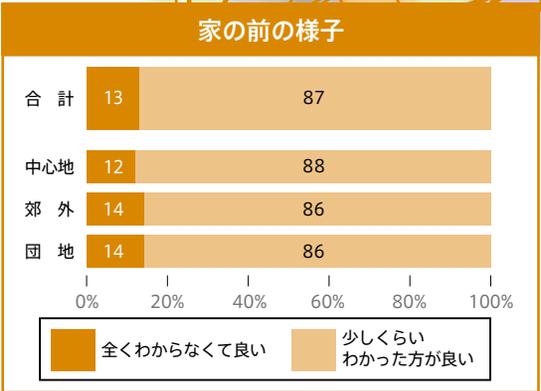
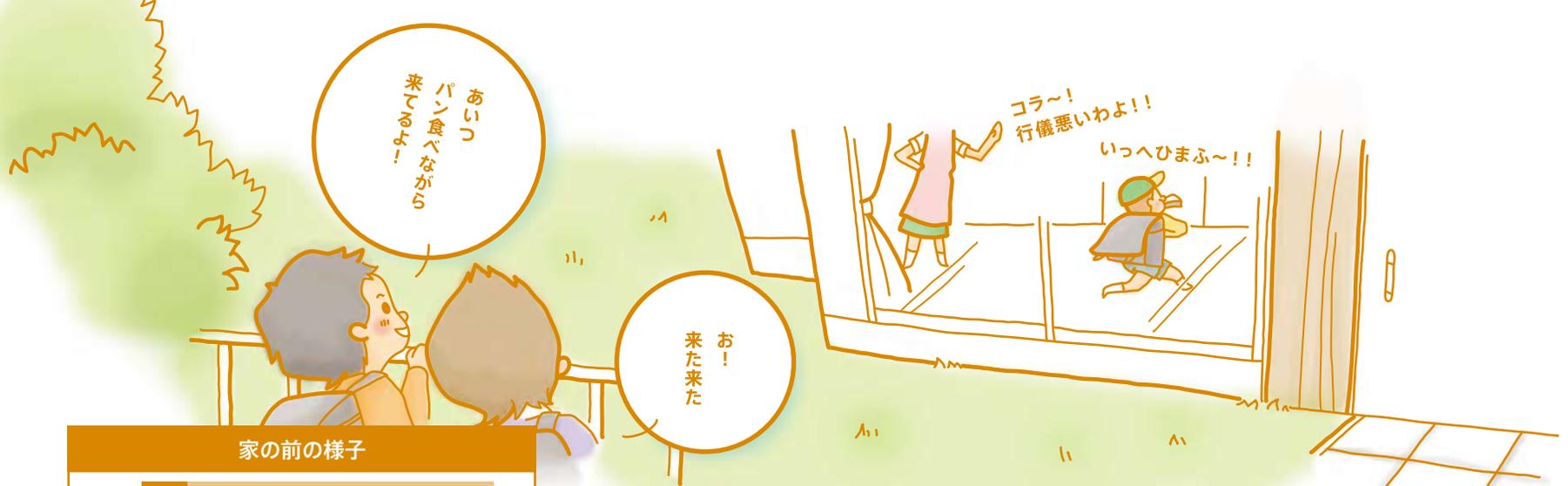
**格子のトレリス**  
まちにはたくさん格子戸が  
残っています。その格子戸に  
たくさんハンギングバス  
ケットを吊して、花育てを  
楽しんでます。

**セミオープン**  
バラが植えられた美しい庭は  
入ることはできませんが、通  
りからは木製のフェンス越し  
に見ることができます。

オープンガーデンではありませんが、入口にはウエルカムボードが下がり、訪問者を待っています。園内はハーブガーデンもあり、使う庭、食べれる庭になっています。



オープンなガーデン



出典：市民アンケート (p11参照)

# 【手法13】見える室内

家の中で生活していて、まわりの様子が分からないのも少し不安です。アンケート結果によれば「家の中の様子も見られることになるが、家の前の道の様子は分かった方がよい」が多い結果となりました。そうすることによって、まちと家はつながり人の住む温かなまちが生まれます。



**すだれ**  
室内からは見ることができて、外からは見えにくくするため、すだれがよく使用されます。すだれ越しに家の気配が伝わってきます。

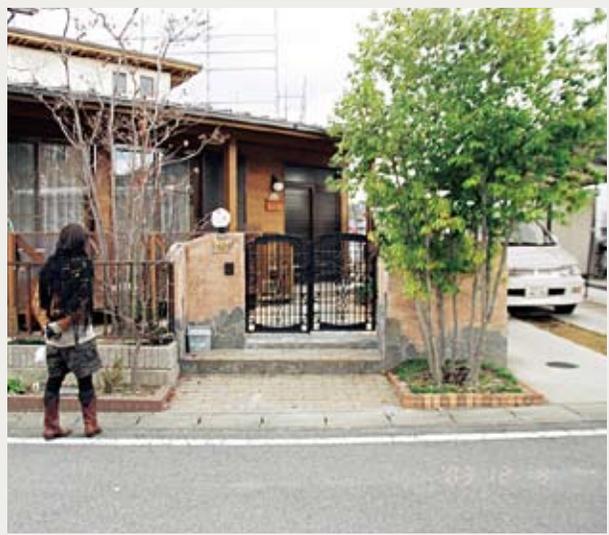


**樹木越し**  
通りに向けられた大きな開口部は、通りとの間に設けられた樹木によって適度に目隠しされながら、室内での家族の暮らしをまちにつなげています。



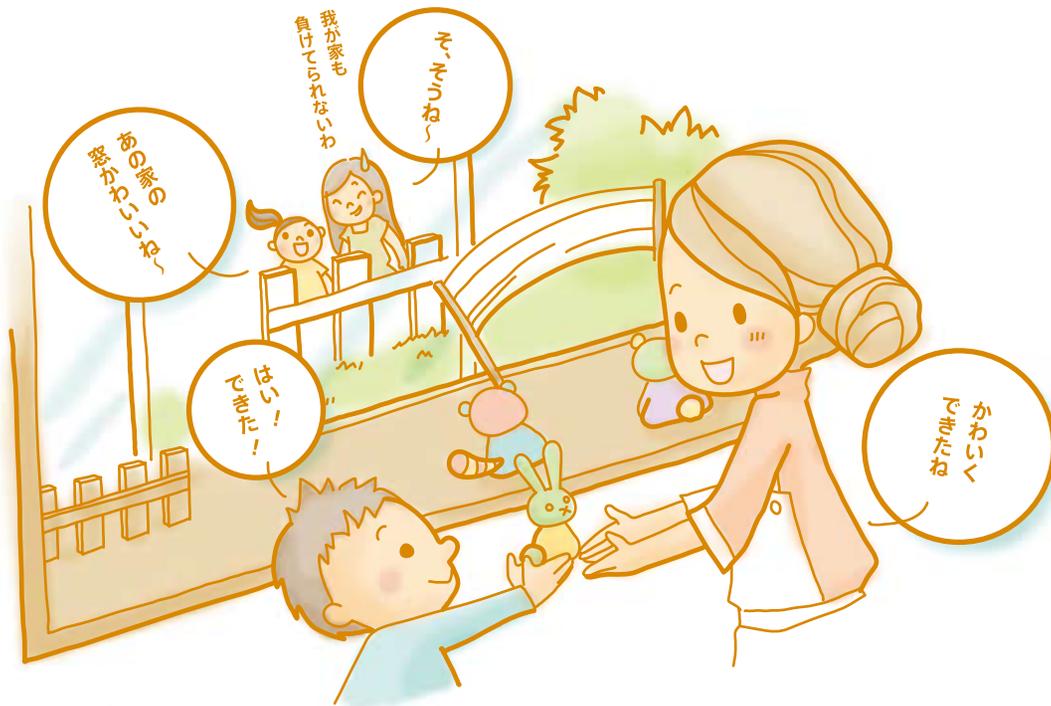
**格子**  
まちなかで通りと建物が近接する場合に、格子が良く使用されます。内側の戸を開ければ内と外は一体となります。閉めてあっても互いに気配は伝わります。

開口部は通りから比較的近いのですが、道路とは角度を持っていないために視線が向き合うこともなく、緩やかに交わっています。



緩やかな交わり

窓

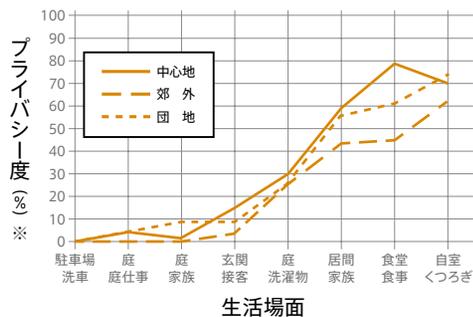


【手法 14】

# 見せる室内

室内の一部を積極的に見せて、まちの人たちとその楽しさを共有することができれば、もっと楽しいことです。見せる室内としては玄関や廊下、縁側や窓辺、居間や趣味室などが考えられます。あなたの楽しみを少し分けてください。何かが始まります。

生活場面のプライバシー度



※プライバシー度：  
それぞれの生活場面が「見られては絶対ダメ」とする人の割合

出典：市民アンケート (p11参照)



出窓はカーテンをどこにつけるかによって、その使い方は変わってきます。これはカーテンを奥につけた例で、外に向けて花を飾った例です。

## 飾り窓

通りに向かった縁側を、まるでショーウィンドウのようにクリスマスのデコレーションで飾った例です。道行く人を楽しませてくれます。

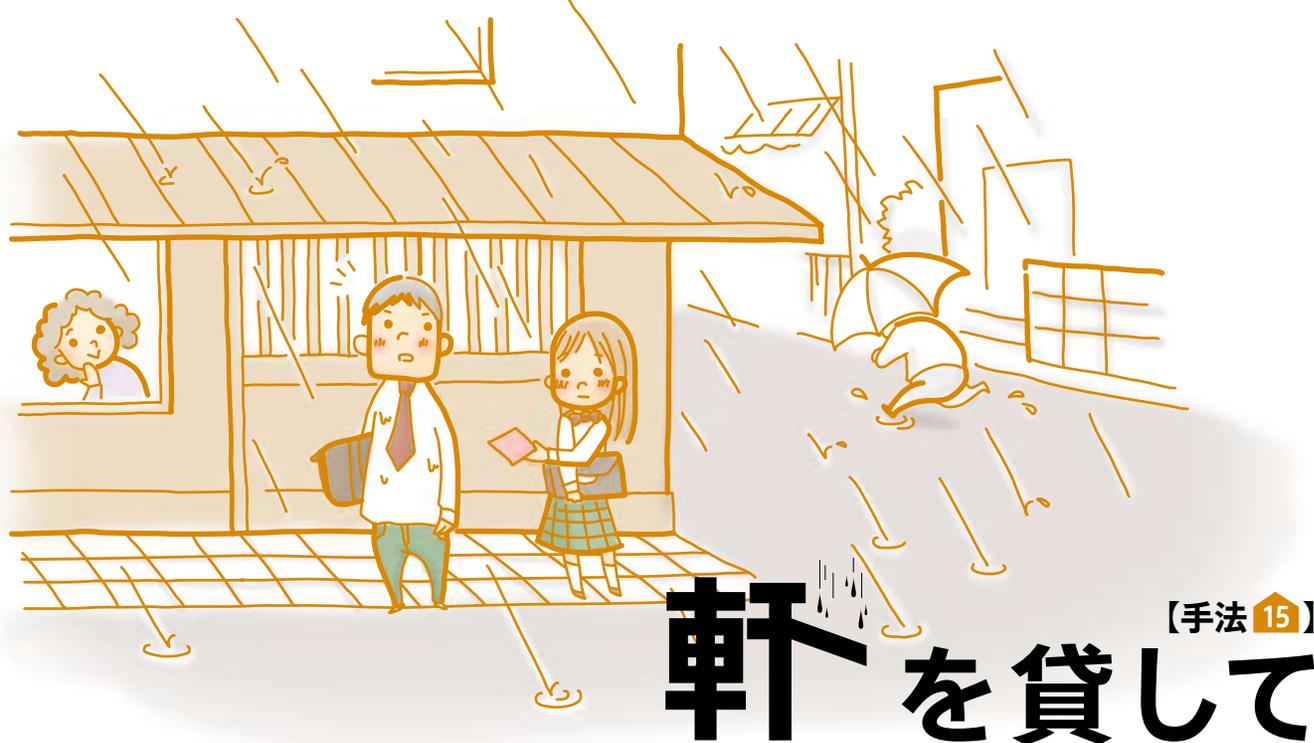


## 縁側ショーウィンドウ

## 松の恩返し



古い市街地にはお地蔵さんや神棚がいたる所にあります。これもその内の一つで、軒先に植えられた松が大きくなったものです。最初は小さな松がお地蔵さんに守られていたのでしょうか。今やその松は大きくなって木陰を作り、お地蔵さんに恩返しをしているようにも見えます。「軒を借りた松の恩返し」そんなエピソードが生まれそうな、あたたかい風景です。



**昔**の建物は軒が深く、不意の雨では雨宿りの場所となったり、そこから恋が芽生えることもありました。そんな軒下の空間は暑い日差しや雨を避けることができ、上が覆われているため落ち着いた場所ともなり、まちのコミュニケーション空間となったりします。



**下屋（げや）**  
まわりに比べると下屋のように設けられた軒下空間です。通りからは分離していますが、いろんな使い方が出来るような空間です。



**軒並み**  
「全てが例外なくそうであること」を表すのを「軒並み」と言いますが、軒が続いて並んでいる家々の状態から派生した言葉です。



**軒先**  
これは駐車場と玄関への入り口として設けられ、ゲートのようにデザインされた軒先です。古い建物が残る地区の歴史に配慮されたデザインとなっています。

ちょっと前まで雨が降っていたのでしょうか。ちょうど軒下だけが濡れていなくて、軒下の効果がよく分かります。戸を開ければ素晴らしいまちの交流空間の誕生です。



雨宿り

窓

さっき聞いたんだけど、  
駅前におだんご屋さんが  
できるんですよって、  
一緒に行きませんか？

どい行っても  
長話だなあ…

まあ、  
いいわねえ  
行きましょう

【手法 16】

# 縁側で

縁側は気軽に近所の人立ち寄れる場所でした。「おらっせるかね」と縁側にちょこんと腰掛け長話。縁側で日向ぼっこをしているおばあさんを見つけて、「元気にしとりゃあす」と一言。縁側は近所の人たちの日常的な普段着の交流空間でした。



**カフェテラス**  
これはまちなかの高齢者向け施設ですが、通りに開かれたテラスにテーブルを設置し、カフェテラスとしています。窓越しに内部の様子も良く見えます。



**デッキ**  
デッキとは室内の床に近い感覚で、室内の延長として使用される大きめの濡れ縁です。通りに向かってオープンにできれば、まるで舞台のようです。

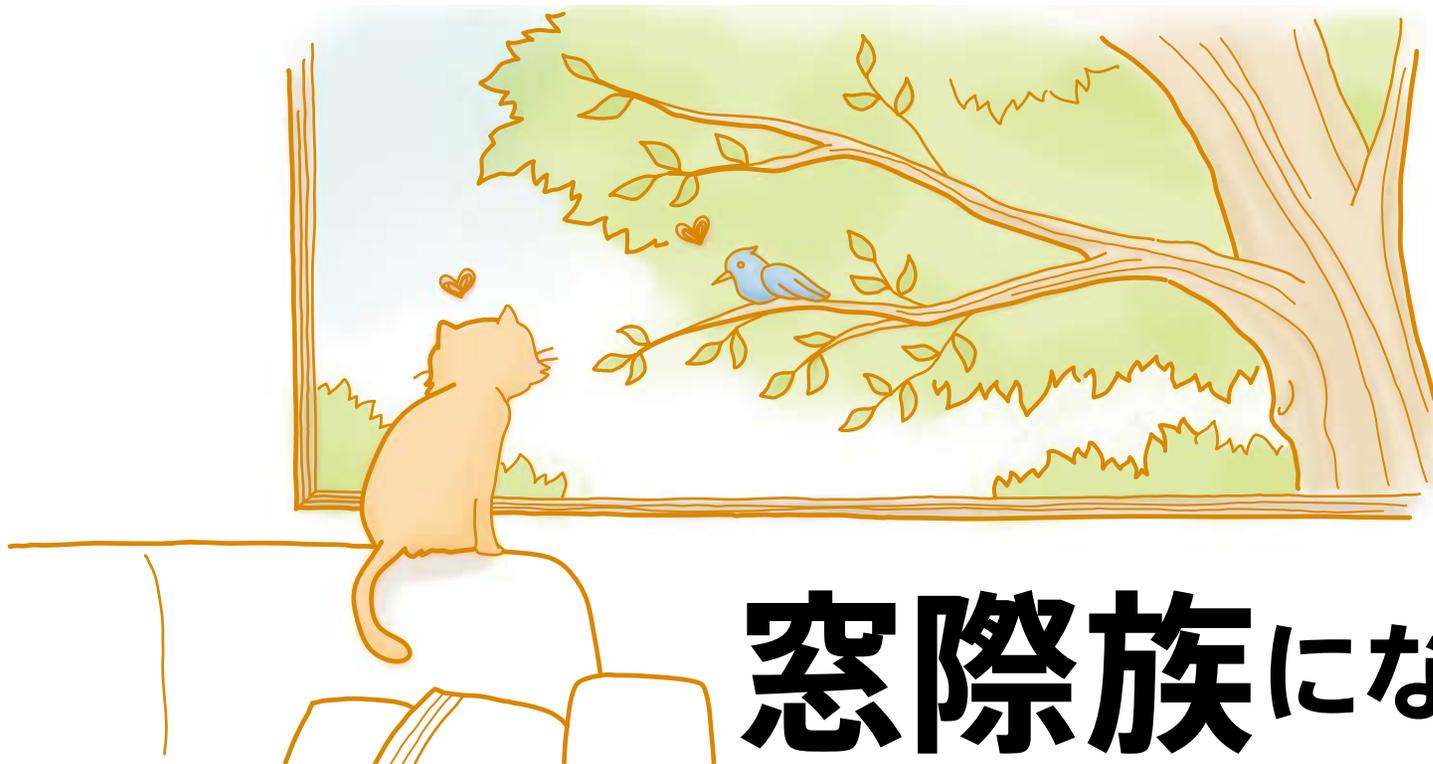


**縁台**  
これは住宅ではありませんが、軒下に縁台や椅子を置けばお休み処の出来上がりです。こんな場所がたくさんあれば、お年寄りも安心して散歩できます。

大きく張り出した庇の下に設けられたオープンな縁側です。濡れ縁といった方が良くも知れませんが。ぶら下がった簾がより風情を感じさせます。



濡れ縁



【手法17】

# 窓際族になろう

**窓**際が一番端っこではなく、窓際は外とつながった最も良い場所です。多くの人が列車や飛行機では窓側座席を希望します。向かい合った窓辺の男女が恋に落ちるといった映画のシーンもよくあります。自然とまちにつながった暮らしのできる窓際族になりませんか。



**目は口ほどに  
ものを言いつ**  
窓は人の顔で言う目と目に当たります。目が多くのことを語るように、窓はまちに向かつて多くの情報を発信しています。そして多くの情報を受信します。



**出窓**  
出窓は外から見られることを強く意識した窓です。出窓は舞台で、演出家はあなたです。さてさて、今度は何をデビューさせましょう。



**肘掛窓**  
窓台の高さが床に座って肘を掛けられる高さの窓です。持ち出しの手すりがついている場合が多く見られます。窓台にひじを掛けてほんやりと通りを眺めたり、窓台に座って外を眺めたりしました。

猫は家中で一番暖かいところを知っています。午前中は東の出窓に、午後は縁側に置かれた敷物の上で丸くなっています。そして何よりおばあさんの膝の上が大好きです。



猫の好きな場所

窓

## バルコニーとベランダの違い

同じものをバルコニーと呼んだり、ベランダと呼んだりします。どちらでもいい話なのですが、その違いを一言。バルコニーは室外に張り出した屋根のない手すり付きの台のことで、ベランダは屋根のあるものを言います。下の写真はこの分類に従って整理してみました。



【手法 18】

# バルコニーからご挨拶

バルコニーは布団を干すための場所だけではありません。特に集合住宅や2階が中心の住宅にとっては、庭の役割を果たしています。バルコニーを大きく取って、バルコニー生活を始めませんか。バルコニーはまちを眺める観客席であり、まちに向かった舞台でもあります。



**バルコニー庭園**  
バルコニーを大きくとって、たくさん植物を置けばそれは立派な庭園になります。そうすればバルコニーは大切な生活の場所になります。



**ベランダ**  
南側の全面に設けられたベランダです。深い庇とベランダは、この家のデザインにもなっていて、奥行きと馴染みやすさを感じさせます。



**高台のバルコニー**  
高台のために2階のバルコニーはさらに突き出した感じとなっています。ここからの眺望はスリリングなすばらしい眺めとなりそうです。

バルコニーと言う名にふさわしい形状のバルコニーです。今にも誰かがここに立ち、演説が始まりそうな雰囲気です。



バルコニー